

★きょう護憲平和行進六〇〇回!

―浜松市憲法を守る会の歴史と未来への願い―

たった一人の行進から始まった

◇一九六四年十一月五日、浜松市で大規模な軍事パレードが行われました。この時、パレードの最後尾を「戦争準備絶対反対」と書いたプラカードを掲げて、たった一人でデモを行った市民がいました。

◇この人は、「浜松市憲法を守る会」の創立者の一人、遠州教会の松本美実よしみ牧師でした。会や仲間に迷惑がからぬよう一人でデモを敢行したのでした。

◇この出来事は、当時の中日新聞に軍事パレードの記事と共にその紙面に残っています。

これが半世紀、六〇〇回の護憲平和行進の始まりです

◇この後、この会は断続的に護憲平和行進を行っていましたが、一九六八年二月十一日の行進(建国記念の日制定反対デモ)から、これからは毎月第二日曜日には必ず行進を行うことにしました。

◇この護憲平和行進は半世紀の間、選挙投票日などで行進許可が得られなかった時を除いて、一度も休むことなく、現憲法の価値、その時代の平和の問題を訴えて続けられました。そして本日、遂に六〇〇回の節目を迎えました。

このような行進が必要なくなることを願って

◇しかし、私達はこの記念すべき行進の日を、複雑な思いで迎えています。なぜなら、この半世紀の間に、日本はどんどん右傾化し、憲法はないがしろにされて戦争に傾いていったからです。

◇昨年は、遂に憲法九条の解釈を変えて、自衛隊が武装して海外に出て行き、武力を行使する、すなわち戦争の出来る国となつてしまいました。

◇憲法を人に例えるなら、憲法は泣いています。そして九条はさらに今やリストラされようとしているのです。

◇どの国とも仲よくし戦争をしない事が当たり前、護憲平和行進など必要のない国になること、これが私達の切なる願いです。六〇〇回という記念すべき節目に、それを誇ることなく、むしろこの行進が必要なくなる日を願いつつ、また一歩前進します。どうか応援をよろしくお願い致します。

二〇一七年二月十二日(日) 護憲平和行進(通算600回目)

★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

☆半世紀・六百回の行進と活動を記した記念誌をカンパ¥300でどうぞ!

浜松市憲法を守る会

様

浜松市憲法を守る会の歌

(作詞・伊藤邦幸・溝口正 作曲・相原夏江)

一

軍国の闇夜は明けは
巡り来ぬ平和の朝は
平和と武器をとらじ
我らは二度と

二

百万の血潮流れてぬ
遺言の定め生まれぬ
平和は人の権自由
我らはこの理想に生きん

三

この都市に同志集いて
護憲の灯を守りか
平和は人の権自由
我らはこの理想に生きん
平和は人の権自由
我らはこの理想に生きん